



6月21日「世界キリンの日」に開催！

長次郎、また会う日まで！

日本生まれの最古のキリン骨格標本、解体後初の全身公開！
書籍『キリンが来た道 麒麟児 長次郎の歩み』発売を記念した、一日限りの特別イベント

日時 令和8年6月21日(日)13:00～17:00
場所 日本獣医生命科学大学 A棟2階(体育館)
(東京都武蔵野市境南町1丁目7番1号)
参加費 無料(事前予約不要・直接会場へお越しください)
主催 日本獣医生命科学大学附属博物館



長次郎の骨格標本(解体時の様子)

イベントの見どころ

① 長次郎の全身骨格&等身大タペストリーを公開！

② キリンの骨に触ってみよう！(ハンズオン展示)

③ 執筆者による特別解説(各10分)

書籍『キリンが来た道 麒麟児 長次郎の歩み』の執筆者2名による特別解説を実施します！

【スケジュール】1回目 13:30～ / 2回目 15:30～

解説1 長次郎の歩みを振り返る(石井)

解説2 骨からわかる、キリンの歴史と暮らし(鈴木)

解説3 ここを見て！今だから見られる長次郎の見どころ(石井)

④ 書籍購入特典：長次郎とツーショット撮影

⑤ ミニ展示の会期を1日限定で延長！

⑥ 博物館の展示室を特別に公開

※①②③④はA棟、⑤⑥は一号棟にて実施します

キリン「長次郎」とは？

1940年に上野動物園で生まれ、1942年に井の頭自然文化園に引っ越したのち、1944年に死亡したキリンです。死亡後は本学(当時：日本高等獣医学校)にて解剖され、4年以上の歳月を経て骨格標本となりました。その後長年にわたり、全身の骨が組み立てられた状態で展示されていましたが、資料保護のため2025年に解体し、現在は一部の骨のみを展示しています。

世界キリンの日(World Giraffe Day)とは？

一年間で最も昼が長くなる夏至の日を、最も首が長い動物のキリンにかけて、キリン保全財団(Giraffe Conservation Foundation)が制定した記念日です。世界中の動物園や保護団体がこのイベントに賛同しており、日本でも世界キリンの日に合わせて様々なイベントが開催されています。

日本獣医生命科学大学附属博物館

アクセス：JR中央線・西武多摩川線

「武蔵境」駅南口より徒歩2分

お問い合わせ：0422-31-4151(代)もしくはフォームにて



イベントページ
(公式サイト)



イベントページ
(三博協)



問い合わせ
(フォーム)



ご来場の方へのお願い

- ・A棟は土足禁止です。靴袋を配布しますが、室内履き(スリッパ等)が必要な方はご持参ください。
- ・A棟・一号棟内は飲食は禁止です(廊下での水分補給のみ可)。館内に自動販売機や給水機はありませんので、お飲み物をご持参ください。
- ・車・バイクでのご来館はできません。駐輪場も限りがあるため、公共交通機関でのご来館をお願いいたします。
- ・一号棟内にはエレベーターや車椅子昇降機は設置されておらず、バリアフリーの構造とはなっていません。あらかじめご了承ください。(A棟にはエレベーターがございます)